

臀部脂肪注入（BBL）に対する 5 学会からの提言

5 学会の臀部脂肪注入に関する特別委員会は、臀部への脂肪注入（ブラジル式臀部リフト、あるいは”BBL”）での死亡を分析した。

死亡率は、おおよそ 3000 例に 1 件で美容的手技では最も高い。2017 年にフロリダ州だけで 3 件の死亡例があった。すべての BBL の施術者は、自身の手技を再評価すべきである。

何人かの死亡した患者の施術者は、皮下脂肪層に注入したと述べているが、すべての死亡した BBL 患者の剖検での共通した所見は、1) 臀筋内の脂肪、2) 筋肉の下の脂肪、3) 上あるいは下大殿静脈への損傷、4) 心臓あるいは肺への多量の脂肪塞栓であった。

皮下脂肪層だけの脂肪注入での死亡例は、未だ見いだされていない。これは、施術者らが意図したより深く脂肪が注入されたことを示している。死亡の機序は、高圧で血管外に移植された脂肪が太い大臀静脈の裂け目から血管の中に入り、心臓や肺で塞栓を生じたと推定された。

それゆえ特別専門委員会は次の提言をする。

1) 脂肪注入は、出来るだけ大殿静脈や坐骨神経から離すこと。脂肪注入は、皮下脂肪層が最も安全と考えられるので、皮下脂肪層にだけに移植されるべきである。もし、整容的な目標が、皮下脂肪層に入れる以上の脂肪が必要ならば、施術者は、深部へ注入するのではなくこの手技を段階的に行うことを考慮すべきである。

2) カニューラ先端の位置が、すべての注入操作で、皮下脂肪層内に留まるように専念すれば、意図しないより深い経路、特に危険な構造を覆う内側半分の臀部領域には進まない。

3) 臀部各部位へのカニューラ到達が浅い経路でできる最も良い方法は、切開を応用することである。カニューレの深い角度を避けて、カニューレ先端が表層に保てているのを確認するのに対側の手で表面から触れるのが良い。

4) カニューレをコントロールするのが分かるカニューレ器具を使いなさい。

振動するカニューレを用いるのも、触知できる手助けになる。

5) 高圧の脂肪塊の注入を避けるために、脂肪注入は、カニューレを動かしている間にだけなされるべきだ。

6) 死亡の危険性は、すべての今後の BBL 患者とも話し合われるべきである。

7) 次の3つの論文が役立つ関連論文である。

[Staying Safe During Gluteal Fat Transplantation, Plastic and Reconstructive Surgery, January 2018](#)

[Report on Mortality from Gluteal Fat Grafting: Recommendations from the ASERF Task Force; Aesthetic Surgery Journal, July 2017](#)

[Acceptable Risk: Who Decides? Editorial by Foad Nahai, MD, Aesthetic Surgery Journal, July 2017](#)

この研究計画は、Plastic Surgery Foundation(PSF), Aesthetic Surgery Education and Research Foundation(ASERF), と International Society of Aesthetic Plastic Surgery (ISAPS)の学会の特別チームによって管理され、基金提供がなされて進んだ。彼らは、深さと局所解剖を関係付け、危険部位を明らかにし、塞栓の機序を理解しようとした。将来、この手技を安全に進めることができるのは、この研究に依る。

委員会の委員は、剖検の間検死官を助け、非常に貴重な安全情報を提供した。もしあなたが死亡例に遭遇する機会があれば、すぐに PSF の事務局長の Keith Hume の特別委員会共同代表の指導を受けてください。

臀部脂肪注入特別委員会共同代表

Dan Mills, MD

J. Peter Rubin, MD

Renato Saltz, MD

5 学会 :

American Society of Plastic Surgeons (ASPS)

American Society for Aesthetic Plastic Surgery (ASAPS)

International Society of Aesthetic Plastic Surgeons (ISAPS)

International Society of Plastic and Regenerative Surgeons (ISPRES)

International Federation for Adipose Therapeutics and Science (IFATS)

訳：日本美容外科学会（JSAPS）医療安全委員会